

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



かつやく とし
活躍した年:

1758~1831年



かつやく ぶんや
活躍した分野:

こくがくしゃ きょういくしゃ
国学者、教育者



ゆかりのある場所等:

けいぎょうかん あと
・敬業館の跡
にしやま せっさい
・西山拙斎



こでら
小寺

きよさき
清先

新高 高 総 早 倉 矢 井 浅 里
見 梁 社 島 敷 掛 原 口 庄
市 市 市 町 市 町 市 町

笠岡市



こでらきよさき かんえいがん
小寺清先は、寛延元（1748）年、笠岡村の陣屋稲荷（今の笠岡小学校の裏山にある）
かんぬし こ う
の神主の子として生まれました。

きょうと うらべ し しんどう わ か ちょうげつ まな いえ し こと つ のち ちょうなん
京都で卜部氏に神道を、和歌を澄月に学びました。家の仕事を継ぎましたが、後に長男の
きよゆき かんぬし
清之に神主をゆずりました。

かんせい ねん かさおか ごうがく けいぎょうかん がっこう ととき かせおかだいかん
寛政10（1798）年、笠岡に郷学「敬業館」という学校がつくられた時に、笠岡代官
はやかわはちろう ざ えもん しよだいぎょうじゆ にんめい し てい きょういく つと
の早川八郎左衛門によって初代教授に任命され、子弟の教育に努めました。

めいせい した び ぜん びんご あ き ながと ぶんご とお くに まな もの おとす
その名声を慕って、備前・備後・安芸・長門・豊後など遠くの国から学ぶ者がたくさん訪
つた みた おだ じょうひん せい かく かもがた にし やませっさい かんなべ かんちゃ ざん
れたと伝えられています。また、穏やかで上品な性格で、鴨方の西山拙斎、神辺の菅茶山ら
きんりん ぶんじん した こうりゅう
近隣の文人とも親しく交流がありました。

きよさき ぶんせい ねん さい な ねん ちか けいぎょうかん きょういく
清先は、文政10（1827）年、80才で亡くなるまで、30年近くも敬業館で教育に
つ
尽くしました。

けいぎょうかん かいこう ねん なが あいだ かせおか ち ほう がくもん ちゅうしん おお やくわり
敬業館は開校して80年あまりもの長い間、笠岡地方の学問の中心として大きな役割をは
たしました。現在、その跡地は笠岡市の史跡となっており、塾舎（生徒の宿舎）の建物が、
しりょう て ぶくげん うら て はやかわだいかん し とく の ひ なら
資料を手がかりに復元されています。また、その裏手には、早川代官の「思徳之碑」と並んで、
こでらきよさき とく たた ゆうえんせんせい の ひ のこ
小寺清先の徳を讃えた「楢園先生之碑」が残っています。